

# 浜通りにおける廃炉産業集積の取り組みについて

**TEPCO**

---

2022年4月27日

## 【廃炉産業集積に向けた基本的な考え方と当面の取組み】

- 廃炉産業集積に向けた取組みを、大きく3ステップに整理
- 2020年度はSTEP1・2に注力し一定の成果。この取組みを継続・強化すると共に2021年度は新たにSTEP3にも踏み出していく（詳細は次頁以降）

	基本的な考え方	当面の取組み
これまで	<p><b>STEP1</b> 地元企業の 参入拡大</p>	<p>「地元で出来る仕事は、可能な限り地元に発注することを目指し、地元企業の新規参入・受注拡大に向けた環境を整備する</p> <ul style="list-style-type: none"><li>発注見通し説明会の開催</li><li>商談会の開催</li><li>相談窓口の運用継続</li></ul>
	<p><b>STEP2</b> 地元企業の ステップアップ サポート</p>	<p>意欲ある地元企業がより高度な業務に進出できるよう、関係機関とも連携しながら、経営力・技術力向上をサポートしていく</p> <ul style="list-style-type: none"><li>ニーズを踏まえた研修開催</li><li>受注後の細やかなフォロー</li><li>県外企業との提携支援</li></ul>
これから	<p><b>STEP3</b> 地元での 新規産業創出</p>	<p>これまで東京や海外へ発注していた中核技術・製品について、浜通りで開発・製造できるよう、新たな施設や事業体を設立</p> <ul style="list-style-type: none"><li>パートナー企業と共同で廃炉関連製品工場設立</li><li>当該工場による地元での雇用、協業、発注</li></ul>

## 【今後の取組み（新規産業創出）①】

- これまで東京や海外へ発注していた**廃炉の中核技術・製品**について、将来的には**浜通りで開発・製造し、地元経済の中長期的な柱**とすることを目指します。
- その実現に向け、当社が主体となり、**高度技術を持つ県外企業の誘致**を図ると共に、**地元企業と緊密な連携**を図り、地域の雇用創出、人材育成、産業・経済基盤の創造等に貢献してまいります。

## 【廃炉事業の基本的な流れ】



## 【主な実施個所】

これまで

東京 / 海外

浜通り（構内）

未実施

将来

原則として、すべて浜通りで一貫して実施

## 2. 今後設置を検討している廃炉関連施設

3

- 地元での一貫実施体制整備に向け、**2020年代**に以下の**廃炉関連施設の設置を予定**しております。
- うち、**開発/設計**を担う「**燃料デブリ取出しエンジニアリング会社**」と**製造**を担う「**廃炉関連製品工場**」について、パートナー企業との基本合意に至りました。(※下図緑枠)
- あわせて、**廃炉事業の総合的なプロジェクトマネジメント強化**を図るため、海外での廃炉に豊富な知見を持つパートナーと協業契約を締結いたしました。

工程	設置を検討している廃炉関連施設	
開発/設計	<ul style="list-style-type: none"><li>● 燃料デブリ取出しエンジニアリング会社</li><li>✓ 燃料デブリ取出しシステムの研究開発/設計を行う共同事業体</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>● 放射性物質分析・研究施設</li><li>✓ 今後の廃炉に必要な研究開発や、幅広い試料の分析を行う施設</li></ul>
製造	<ul style="list-style-type: none"><li>● 廃炉関連製品工場</li><li>✓ 金属キャスクや燃料デブリ保管容器を製造する共同事業体 (当面は福島第二向け金属キャスクを製造)</li></ul>	
運用	<ul style="list-style-type: none"><li>● 燃料デブリ取出/メンテナンス設備</li><li>● 海洋放出設備(処理水対策)</li><li>✓ 政府方針達成にむけたALPS処理水希釈放出設備</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>● 協力企業棟</li><li>✓ 福島第一管理区域内の協力企業棟整備 (休憩所の整備)</li><li>✓ 福島第二協力企業棟整備(使用済燃料保管施設の設置に伴い構外に移転)</li></ul>
保管	<ul style="list-style-type: none"><li>● 福島第一使用済燃料保管施設(増設)</li><li>● 福島第二使用済燃料保管施設</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>● 福島第一廃棄物保管施設(増設)</li><li>● 燃料デブリ保管施設</li></ul>
リサイクル	<ul style="list-style-type: none"><li>● 金属溶融施設</li><li>✓ 1Fの金属ガレキを除染・減容化するために溶融する電炉</li></ul>	

### 3. 廃炉産業集積を通じた復興への貢献

4

2020年代

立ち上げ

工場・施設の建設  
地元企業への発注拡大

成長

工場・施設の稼働  
地元人材の採用拡大  
地元企業との人材交流

発展

地元企業が廃炉以外・浜通り以外へ進出  
産業集積に伴い賑わい創出

#### 経済貢献



#### 雇用創出



#### 人材育成



#### 賑わい創出



- ・会社運営や施設設置に伴う税収増
- ・地元企業への発注拡大

- ・地域外からの専門人材流入
- ・地元人材の雇用創出

- ・専門人材との交流による地元企業の新たな技術獲得

- ・人口増による賑わい創出
- ・地元商店の消費拡大

**TEPCO**